授業科目(ナンバリング)	高齢者福祉論(DA107)			担当教員	坂本雅俊		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
65歳以上の高齢者の人口は、2030年に総人口の30%を超えることが予測され、高齢者福祉の重要性も高まっている。本講義では、社会福祉士として理解すべく高齢者の身体・心理・社会環境について学び、高齢者福祉の歴史について学ぶ。また、高齢者に関連する法律や制度、特に介護保険制度について体系的に学習することを目的とする。加えて、高齢者を取り巻く福祉問題を総合的に把握し、援助者としての具体的な支援方法について考察する。							①②④⑤⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	高齢者の身体・心理・社会環境を理解するとともに、介護保険制度の内容と実践について理解できる。				定期試験 小テスト		40% 15%
情報収集、分析力	新聞やテレビなどのマスコミから高齢者福祉に関する情報を得て、分析できる。また、地域の介護サービスについて資料を収集し、分析することができる。				課題レポート 定期試験		10% 10%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	高齢者の支援について、グループワークを活用して議論することができる。				課題レポート		5%
多様性理解力	高齢者が置かれている多様な環境や本人の状況について理解することができる。				課題レポート 定期試験		10% 10%
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験(60%)は、高齢者福祉に関する専門的な知識と法律の理解度を確認する(持ち込み不可;再試験を受ける場合は、必ず事前に教員に相談すること)。小テスト(15%)では、学習した用語・概念の理解度を確認する。課題レポート(25%)は、高齢者福祉に関する多様な情報を収集し、今後の高齢者福祉のあり方について考察することを求める。その内容については、授業中に説明する。また、必要に応じて、授業内でフィードバックを行う。 なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等)は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授業の概要							
基本的には講義形式で授業を進めるが、必要に応じてグループワークを行い、ディスカッションとディベートを行う。授業は、配布レジュメに沿って進み、DVD視聴や外部講師による講義が行う場合もある。この授業における予習復習は、授業中に明確に示すので、欠席した場合は、その内容について確認を行う必要がある。授業では、各回のテーマに関連する社会福祉士国家試験に対応する問題も取り入れる。この授業の授業外学習時間は、1コマあたり180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：①杉本敏夫、家高将明編著(2018)「高齢者福祉論」ミネルバ書房 ②社会福祉士養成講座編集委員会・編(2016)『高齢者に対する支援と介護保険制度』第5版、中央法規 参考書：授業の中で適宜紹介していくため準備は必要ない。 指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会・編(2016)『高齢者に対する支援と介護保険制度』第5版、中央法規							
授業外における学修及び学生に期待すること							
高齢者福祉論は、社会福祉士指定科目であるため、高齢者の理解を始め、高齢者福祉の歴史、介護保険制度、関連法律の内容について具体的に理解すること。また、現場でも活用できる多様なサービスやシステムについて直接・間接的に経験する必要があるため、事例などを調べて置くことや統計データを収集する必要がある。さらに、現在の高齢者福祉制度の限界や問題点についても、根拠をもちながら論理的に説明できるように授業内容を理解してほしい。なお、指定図書のみならず各種の関連文献を読み、自分なりの高齢者福祉像を作成していくようにして欲しい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 前期の高齢者福祉関連科目の振り返り	高齢者福祉論の授業についてシラバスに沿って説明する。また、前期の高齢者福祉関連科目を振り返りまとめる。	予：前期の内容を振り返る。 復：授業で説明したことを確認する。
2	高齢者福祉の歴史	介護保険制度の創設までの日本の高齢者福祉の歴史について学ぶ。	予：第4章4節を読む。復：振り返りシートを提出する。
3	高齢者虐待 (在宅)(施設)	高齢者施設および在宅における高齢者虐待の現状と内容について学ぶ。また、セルフネグレクトについて議論を行う。	予：第4章4節を読む。復：振り返りシートを提出する。
4	介護保険制度① 基本的な考え方	介護保険制度の目的と意義について学ぶ。 (自立支援、利用者本位、介護保険全般)	予：教5章の1～2節を読む。復：授業内容を振り返る。
5	介護保険制度② 介護保険法の組み	介護保険法における要介護者認定、保険者と被保険者などについて理解する。また、ケアプランに基づく、介護報酬について理解する。	予：教5章の3～5節、6章1節～3節を読む。復：小テストを準備する。
6	介護保険制度③ 介護保険法の組み	介護保険法における組織及び団体の役割と実際について学ぶ(国、市町村、都道府県、国民健康保険団体連合会など)。	予：第8章を読む。復：授業内容を振り返る。
7	介護保険制度④ 専門職の役割	介護保険法における専門職の役割と実際について学ぶ(介護支援専門員、訪問介護員、介護職員など)。	予：第10章を読む。復：授業の内容を振り返り、小テストを準備する。
8	介護保険制度⑤ 介護施設サービス	介護保険法におけるサービスの種類と提供仕組みの全体的な内容について学ぶ。特に、介護施設サービスの種類と内容について、具体的に学ぶ。(坂本)	予：第7章を読む。 復：自分の地域の施設サービスについて調べる。
9	介護保険制度⑥ 在宅介護サービス	介護保険法における在宅サービスの種類と内容について学ぶ。	予：第7章を読む。復：自分の地域の施設サービスについて調べる。
10	介護保険制度⑦ 地域密着サービス	介護保険法における地域密着サービスの意義と種類および内容について学ぶ(小規模多機能、グループホームなど)。	予：第7章を読む。復自分の地域の施設サービスについて調べる。
11	介護保険制度⑧ 地域包括支援センターと制度の改革	地域包括支援センターの役割と業務内容について学ぶ。また、最近の介護保険制度の動向および改革(改正)の内容について理解する。	予：ポートフォリオに掲載されている資料を読む。 復：授業の内容を振り返る。
12	ゲスト・スピーカー (実践家)	地域包括支援センターにおける困難事例の紹介や地域包括ケアの実際について学ぶ。	予：質問を作成する。 復：ポートフォリオに振り返りシートを提出する。
13	介護保険制度⑨ 介護予防	介護予防サービスの意義と内容について学ぶ。	予：第11章4節を読む。 復：ポートフォリオに振り返りシートを提出する。
14	介護保険制度⑩ 総合事業	介護保険法における総合事業について学ぶ。	予：ポートフォリオに掲載されている資料を読む。 復：総合事業の在り方について考える。
15	まとめ	後期に行った授業内容を振り返り、質問をする。	予：授業中配布した資料を読む。復習：テスト準備を行う。
16	定期試験		